

科目名	特殊講義（農山村再生論A）	科目コード	1536	単位数	2
担当者名	島津 望	開講semester	第5semester	開講年次	3年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

わが国では地方の衰退が大きな問題になっている。この授業では特に地方経済の再構築について、「里山資本主義」という戦後日本における都市と農村の関係と、現在の地方の問題を考えることで、現在起こっていることの歴史的背景を理解する。これにより本学のディプロマ・ポリシーである「自ら課題を発見し解決する能力を身につける」ことを目指す。

● 到達目標

この授業で考察する地方産業の仕組みの理解にとどまらず、その背景にある社会問題にまで目が向けられるようになること。また、総合的な問題把握能力が身につくようにする。

● 授業内容

1週目 イントロダクション：授業の概要、授業の進め方など、「資本主義」について
 2週目 マルクスの「商品」「価値」「労働」および、ポランニーの「互酬、再配分、家政」と「市場」
 3週目 これまでのまとめと、これまでの課題の解説、質疑応答、ならびに単元テスト

4週目 戦後日本の産業政策と共同体
 5週目 戦後日本の農林業政策と林業再生
 6週目 これまでのまとめと、これまでの課題の解説、質疑応答、ならびに単元テスト

7週目 世界のエネルギー革命と日本経済におけるエネルギー問題
 8週目 農業社会、工業社会、脱工業社会の特質
 9週目 価値幣に換算できない価値

10週目 これまでのまとめと、これまでの課題の解説、質疑応答、ならびに単元テスト

11週目 ネットワーク社会と「情報」
 12週目 社会的ネットワークと信頼
 13週目 都会が抱える問題と里山資本主義
 14週目 これまでのまとめと、これまでの課題の解説、質疑応答、ならびに総合テスト

15週目 総括と個別指導
 16週目 やむを得ず15週までの授業内容を実施できなかった場合は補講授業をおこなう。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習は提示したテキストや資料を事前に読むことに1時間を要する。
 復習はその週に学んだことをノートにまとめることに1時間を要する。

ディスカッションなどを行なうアクティブラーニングを実施する予定である。したがって、事前に指定した予習（資料や動画の視聴）をしておき、意見を表明できる準備をしてくること。

● 成績評価の方法・基準

課題提出状況、単元テスト、総合テストなどによって総合的に評価する。
 授業に出席することは当然のことなので、出席率が高いことを以て成績のプラス評価には反映させない。

● 履修上の留意点

課題の提出を以て出席とする（課題を提出しなければ欠席とする）。
 出席率70%未満の者は単位を認定しない。
 授業中の私語、勝手なスマホ操作、その他注意事項を守らない場合は欠席扱いとする。

本科目は2020年度まで「ソーシャル・マネジメントA」として開講してきた科目である。「ソーシャル・マネジメントA」の単位をすでに取得した者は、本科目は履修できない。

● 課題に対するフィードバックの方法

課題や単元テスト、総合テストに対する全体としてのフィードバックは、授業で行うディスカッションなどを通して行う。
 また、個々の受講者へのフィードバックはCoursePower上で行う。
 課題や単元テスト、総合テストに対する異議の申立には、適宜、適切に対応する。

● テキスト

藻谷浩介『里山資本主義』（角川書店）859円
 このテキストは、特殊講義（農山村再生論B）、観光研究ゼミナール ~ と同じものである。

● 参考書

神野直彦『人間回復の経済学』（岩波書店）700円
 内山節『共同体の基礎理論』（農文協）2,860円

● 更新日付

2022/03/01 04:33